



ネットワークビューのセットアップとモニター

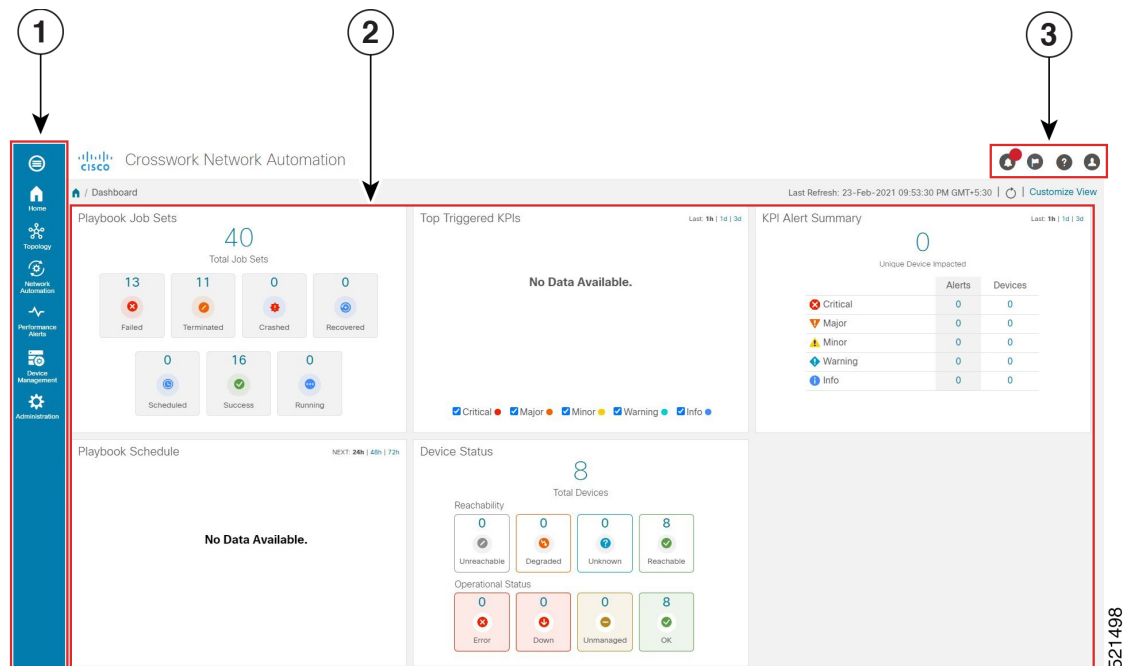
SR ポリシーと RSVP-TE トンネルを管理する前に、UI をよく理解して、ネットワークビューを設定します。ここでは、次の内容について説明します。

- [ダッシュボードでのクイックビューの取得 \(1 ページ\)](#)
- [トポロジマップでのデバイスとリンクの表示 \(3 ページ\)](#)
- [マップ表示設定のカスタマイズ \(13 ページ\)](#)
- [簡易アクセスのトポロジビューの保存 \(19 ページ\)](#)

ダッシュボードでのクイックビューの取得

ホームページにはカスタマイズ可能な一連のダッシュレットが表示され、デバイスの到達可能性や動作ステータスなど、管理対象ネットワークの運用の概要がひと目でわかります。ダッシュボードは一連のダッシュレットで構成され、各ダッシュレットは同じカテゴリに属するさまざまなタイプのデータを表します。

図 1: Crosswork のホームページ



521498

| 引き出し線番号 | 説明 |
|---------|---|
| 1 | <p>メインメニュー：メインメニューでは、インストールされている Cisco Crosswork アプリケーションと、デバイス管理および管理のタスクに移動できます。メニューオプションは、インストールされている Cisco Crosswork アプリケーションによって若干異なる場合があります。</p> |
| 2 | <p>ダッシュレット：情報は、インストールされている Cisco Crosswork アプリケーションによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダッシュレット内の詳細情報をドリルダウンするには、値をクリックします。クリックしたフィルタ処理済みデータのみを表示するウィンドウが表示されます。 ダッシュレットのレイアウトを追加または変更するには、[ビューのカスタマイズ (Customize View)] をクリックします。ダッシュレットを目的のレイアウトに移動し、[保存 (Save)] をクリックします。 ダッシュレットの右上隅にあるゴミ箱または鉛筆アイコンを使用して、TE ダッシュレットを複製または削除できます。 |

| 引き出し線番号 | 説明 |
|---------|--|
| 3 | <p>設定のアイコン：</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ [アラート (Alerts)] アイコンは、注意が必要なシステム操作に関連する現在のエラー状態を通知し、それらの状態に関する詳細情報へのリンクを提供します。 ⑤ [イベント (Events)] アイコンは、システム操作に関連する新しいイベントを通知し、すべてのシステムイベントの履歴にアクセスできるようにします。 ⑥ [バージョン情報 (About)] アイコンには、Cisco Crosswork 製品の現在のバージョンが表示されます。 ⑦ [ユーザーアカウント (User Account)] アイコンを使用すると、ユーザー名の表示、パスワードの変更、ログアウトを行えます。 |

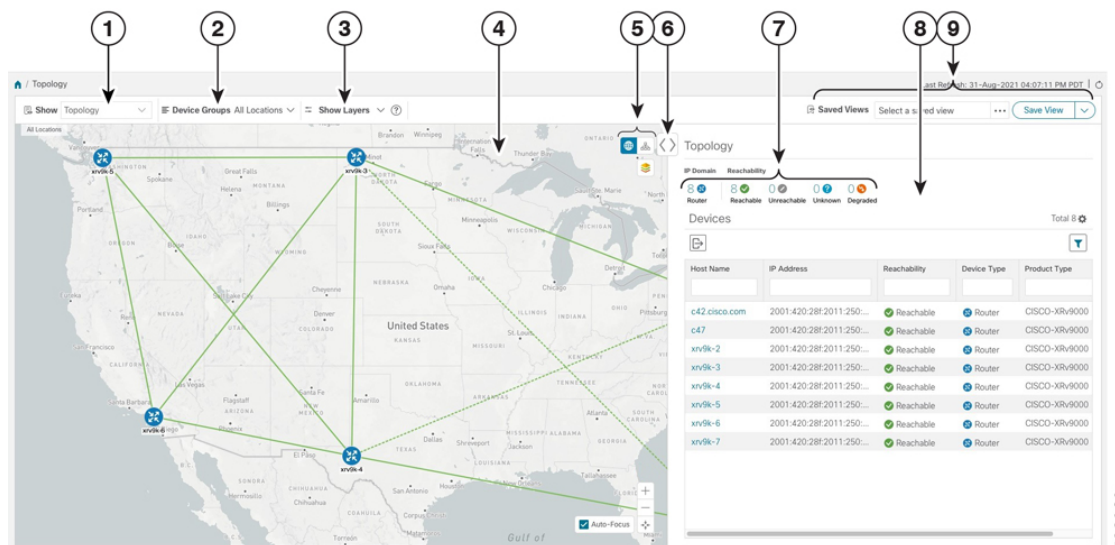
トポロジマップでのデバイスとリンクの表示

トポロジマップでデバイスを表示するには、デバイスをオンボードする必要があります。ネットワークトポロジマップを表示するには、メインメニューから[トポロジ (Topology)] を選択します。








(注) このガイドの HTML バージョンを表示している場合は、画像をクリックしてフルサイズで表示してください。

図 2: Cisco Crosswork UI とトポロジマップ



522060

| 引き出し線番号 | 説明 |
|---------|--|
| 1 | <p>[トポロジマップビュー (Topology Map View)] : [表示 (Show)] ドロップダウンリストから、マップに表示するデータを表示するオプションをクリックします。</p> <p>[トポロジ (Topology)] を選択すると、ネットワーク内のデバイスとリンクが表示されます。</p> |
| 2 | <p>[デバイスグループ (Device Groups)] : ドロップダウンリストから、マップに表示するデバイスのグループをクリックします。他のすべてのデバイスグループは非表示になります。</p> |
| 3 | <p>[表示/非表示 (Show/Hide)] : ドロップダウンリストから、マップに表示するネットワークレイヤをクリックします。選択したレイヤに属するすべてのデバイスとリンクが表示されます。デフォルトでは、すべてのレイヤが表示されます。</p> |
| 4 | <p>[トポロジマップ (Topology Map)] : ネットワークトポロジは、論理マップまたは地理的マップに表示できます。ここでは、デバイスとリンクが地理的コンテキストで表示されます。マップでドリルダウンすると、デバイスとリンクに関する詳細を確認できます。</p> <p>[デバイス (Device)] :</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイス設定の概要を表示するには、マウスポインタをデバイスアイコンの上に合わせます。ホスト名、状態、ノードID、およびデバイスタイプを表示するポップアップウィンドウが表示されます。 • デバイスの詳細を表示するには、デバイスアイコンをクリックします。 • デバイスが物理的に近接している場合、地理的なマップはそれらをクラスタとして表示します。青色の円内の番号 (4) は、クラスタ内のデバイスの数を示します。この方法でデバイスを表示すると、マップ上での重複や混乱を防ぐことができます。 <p>[リンク (Link)] :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実線は、2つのデバイス間の単一リンクを示します。2つのデバイス間、またはデバイスとデバイスのクラスタの間に複数のリンクがある場合は、代わりに線は点線で表示されます。破線は、複数のリンクを表す集約リンクか、または同じ物理リンクでの複数のプロトコル (IPv4 や IPv6 など) の使用を示します。 • A と Z はそれぞれヘッドエンドとエンドポイントを示します。 • リンク情報の詳細を表示するには、リンクをクリックします。 <p>(注) デュアルスタックリンクは、集約されていても1本の線で表示されず。</p> |

| 引き出し線番号 | 説明 |
|---------|--|
| 5 | <p> : 論理マップは、自動レイアウトアルゴリズムに従って配置されたデバイスとそれらのリンクを示し、地理的な位置は無視されます。レイアウトアルゴリズムを変更できます。</p> <p> : 地理的マップは、単一のデバイス、デバイスクラス、リンク、およびトンネルを世界地図に重ねて表示します。マップ上の各デバイスの位置は、デバイスインベントリで定義されているデバイスの GPS 座標（経度と緯度）を反映します。</p> <p> : [表示設定 (Display Preferences)] ウィンドウでは、デバイス、リンク、および使用率の表示設定を変更できます。</p> <p> : グローバル検索では、デバイス名、場所、またはデバイスの都市ロケーションを使用してトポロジを検索できます。</p> <p> : KML へのエクスポートでは、KML 形式を使用して地理的にローカライズされたオブジェクトをエクスポートできます。KML は、Google Earth などの地理的なコンテキストで情報を表示するために使用される XML ベースのファイル形式です。</p> |
| 6 | <p>[サイドパネルの展開/折りたたみ/非表示 (Expand/Collapse/Hide Side Panel)] : サイドパネルの内容を展開するか、または折りたたみます。トポロジマップを拡大表示するには、サイドパネルを閉じます。</p> |
| 7 | <p>[ミニダッシュボード (Mini Dashboard)] には、IP ドメインとデバイスの到達可能性ステータスの概要が表示されます。フィルタが適用されると、[ミニダッシュボード (Mini Dashboard)] が更新され、[デバイス (Devices)] テーブルに表示される内容が反映されます。</p> <p>(注) アラームステータス機能が有効になっている場合は、ここにアラーム情報も表示されます。アラームステータスを表示するには、要素管理機能 (Crosswork Network Controller Essentials パッケージの一部) をインストールし、アラームを表示するデバイスで Syslog および SNMP トラップのホスト情報を設定する必要があります。詳細については、Cisco Crosswork Network Controller Installation Guide および Cisco Crosswork Network Controller Administration Guide を参照してください。アラームステータス機能は、一部のライセンスパッケージで利用できます。</p> |
| 8 | <p>このウィンドウの内容は、インストールしているアプリケーションの種類、トポロジマップの [表示 (Show)] に設定されている内容、デバイスまたはリンクの詳細情報を表示することを選択しているかによって異なります。</p> |
| 9 | <p>[保存済みカスタムマップビュー (Saved Custom Map Views)] : 現在のマップの設定とレイアウト、保存済みビューに保存されているテーブルの設定を使用して名前付きカスタムビューを作成したり、以前に作成したカスタムビューを表示できます。</p> |

デバイスの詳細の表示

次に、トポロジマップを使用してデバイスを表示する例を示します。



(注) このガイドの HTML バージョンを表示している場合は、画像をクリックしてフルサイズで表示してください。

ステップ 1 メインメニューから、[トポロジ (Topology)] を選択します。

ステップ 2 デバイスのホスト名、到達可能性の状態、IP アドレス、およびタイプをすばやく表示するには、デバイスアイコン上にマウスを合わせます。

ステップ 3 デバイスの詳細をさらに表示するには、デバイスアイコンをクリックします。

a) 次の例は、トポロジマップのデバイスの詳細を示しています。

Device Details

Details Links Traffic Engineering

Summary

- Host Name: PCC1_77
- Reachability: ✔ Reachable
- IP Address: 10.195.165.77
- Civic Address: Chicago, Illinois, United States, North America, 7045
- Geo Location: Latitude 42.190000, Longitude -73.800000
- Device Type: 📡 Router
- Device Group: Location > All Locations > Unassigned Devices
- Product Type: Cisco IOS XRv 9000 Router
- Connect To Device: 🔗 SSH IPv4
- Last Update: 09-Apr-2023 04:22:21 PM GMT+5:30

Routing

- OSPF Router ID: 100.100.100.1 Area: 0.0.0.0 (0)
- TE Router ID: 100.100.100.1
- ASN: 1

(注) アラームステータス機能が有効になっている場合は、ここにアラーム情報も表示されます。アラームステータスを表示するには、要素管理機能（Crosswork Network Controller Essentials パッケージの一部）をインストールし、アラームを表示するデバイスで Syslog および SNMP トラップのホスト情報を設定する必要があります。詳細については、[Cisco Crosswork Network Controller Installation Guide](#) および [Cisco Crosswork Network Controller Administration Guide](#) を参照してください。アラームステータス機能は、一部のライセンスパッケージで利用できます。

複数の IGP のセットアップでは、ルーティングの詳細ですべての IGP、IS-IS、および OSPF プロセスを表示することもできます。次の例を参照してください。

図 3: 複数の IGP : OSPF プロセス

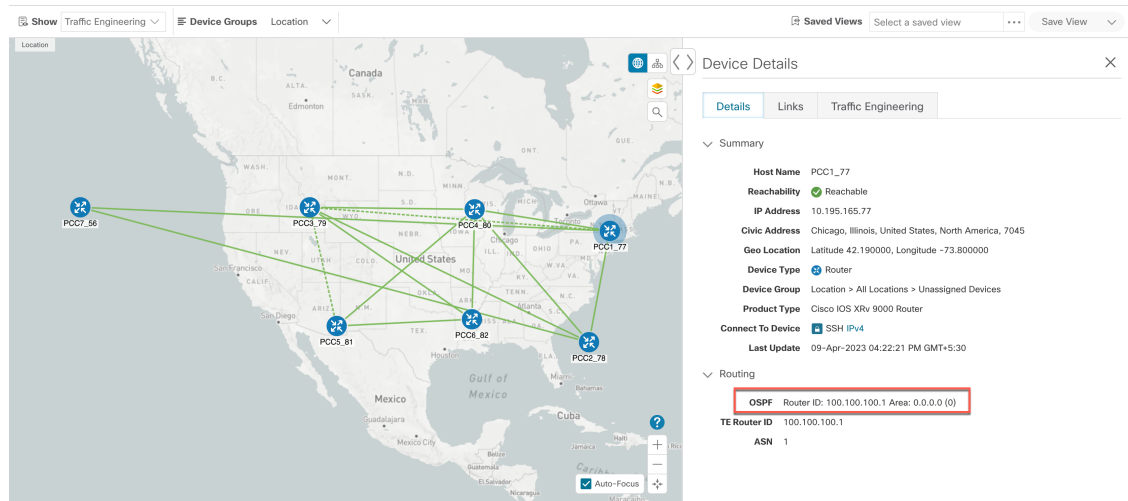


図 4: 複数の IGP : ISIS プロセス

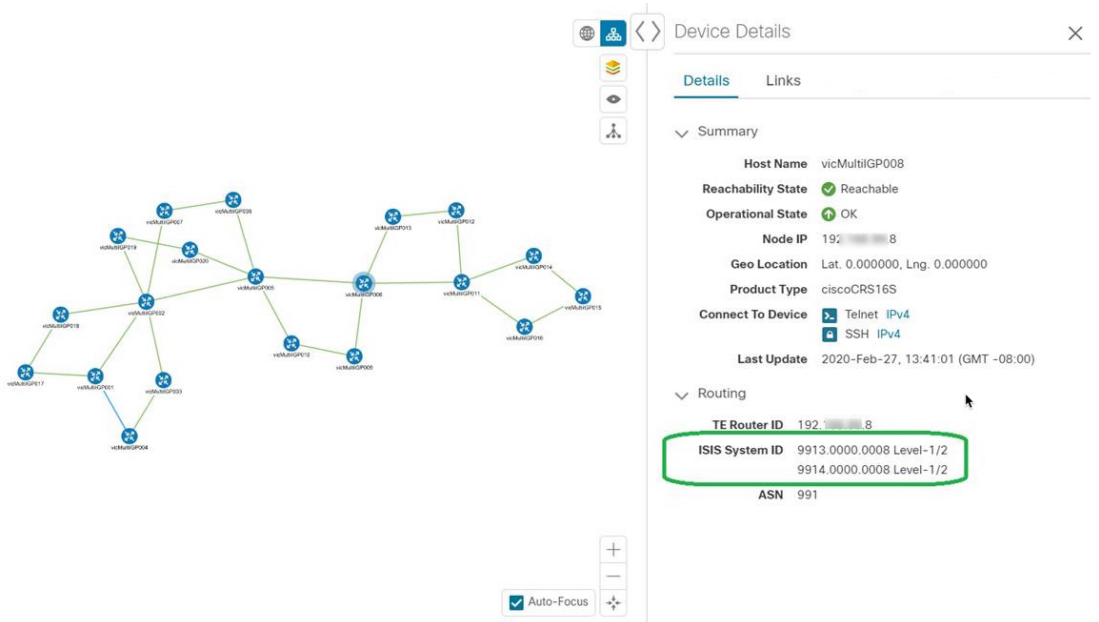
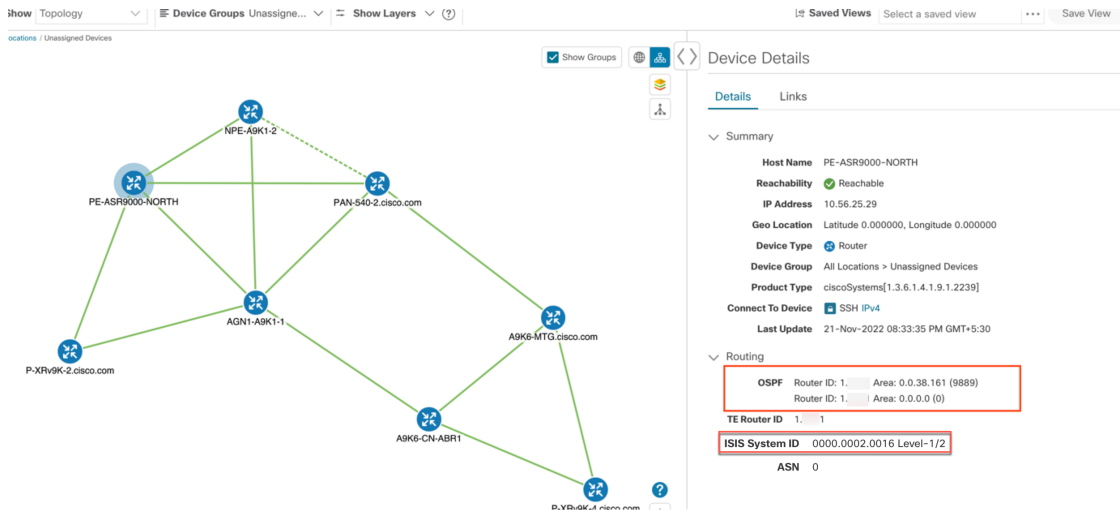
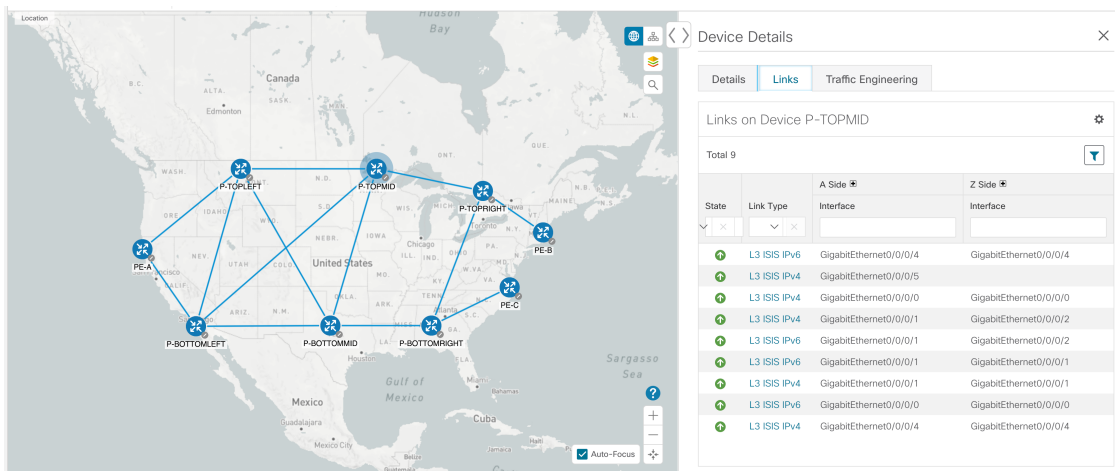


図 5: 複数の IGP : OSPF および ISIS プロセス

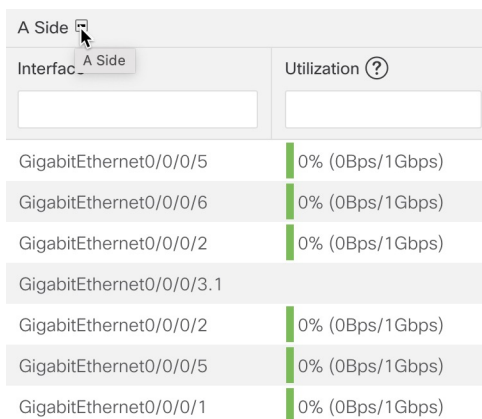


ステップ 4 デバイスのリンクを表示するには、[リンク (Links)] タブをクリックし、右側のパネルを展開してすべてのリンクの詳細を表示します。



ステップ 5 インターフェイスの使用率を表示するには、[A側 (A side)] または [Z側 (Z side)] を展開します。

IPv4 および IPv6 リンクに表示される使用率は、各アドレスファミリーに固有ではなく、インターフェイス上の集約トラフィックを表します。サブインターフェイスには、物理インターフェイスのような帯域幅がないため、使用率は表示されません。トラフィック測定は引き続き収集され、表示されます。



The screenshot shows a table with two columns: 'Interface' and 'Utilization (?)'. The table lists several GigabitEthernet interfaces, all showing 0% utilization (0Bps/1Gbps). A mouse cursor is pointing at the 'A Side' label above the table.

| Interface | Utilization (?) |
|--------------------------|-----------------|
| GigabitEthernet0/0/0/5 | 0% (0Bps/1Gbps) |
| GigabitEthernet0/0/0/6 | 0% (0Bps/1Gbps) |
| GigabitEthernet0/0/0/2 | 0% (0Bps/1Gbps) |
| GigabitEthernet0/0/0/3.1 | |
| GigabitEthernet0/0/0/2 | 0% (0Bps/1Gbps) |
| GigabitEthernet0/0/0/5 | 0% (0Bps/1Gbps) |
| GigabitEthernet0/0/0/1 | 0% (0Bps/1Gbps) |

リンクの詳細の表示

この例では、次の情報を表示する方法について説明します。

- リンクの詳細（名前、状態、タイプ、エンドポイント インターフェイス情報）
- 集約リンクのメンバー
- IPv4 アンナナバード インターフェイス情報（利用可能な場合）が、インデックスとして表示されるか、TE ルータ ID とデバイス、リンク、およびトポロジの詳細に含まれるインデックスを組み合わせたものとして表示されるようになりました。

ステップ1 メインメニューから、[トポロジ (Topology)] を選択します。

ステップ2 リンクの詳細を表示します。

トポロジマップのリンクをクリックします。

Link Details



Summary

Name GigabitEthernet0/0/0/2-GigabitEthernet0/0/0/2
State Up
Link Type L3 ISIS IPv4
ISIS Level 2
Last Update 13-Apr-2023 09:19:44 PM PDT

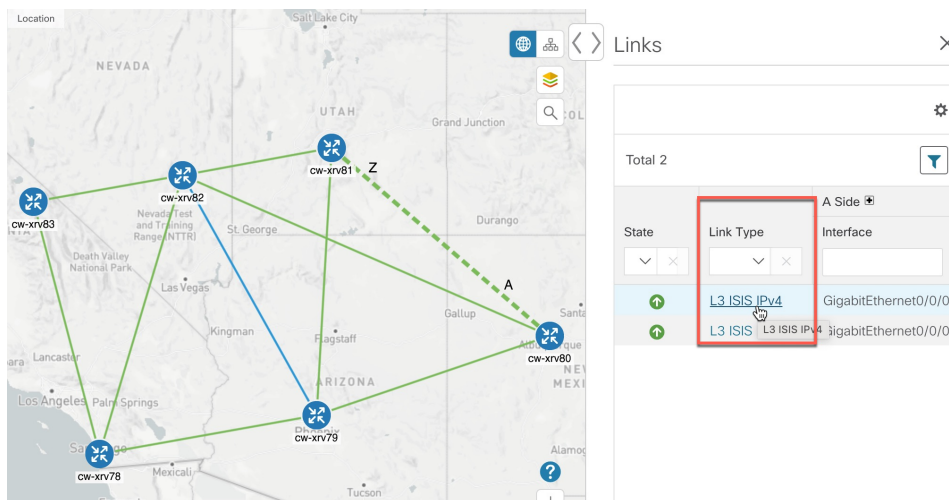
| | A Side | Z Side |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|
| Node | cw-xrv78 | cw-xrv83 |
| TE Router ID | 3.3.3.78 | 3.3.3.83 |
| IPv6 Router ID | bb:bb:bb:3:3::78 | bb:bb:bb:3:3::83 |
| IF Name | GigabitEthernet0/0/0/2 | GigabitEthernet0/0/0/2 |
| IF Description | GigabitEthernet0/0/0/2 | GigabitEthernet0/0/0/2 |
| IF Alias | *** connect to xrv83 *** | *** connect to xrv78 *** |
| Type | ETHERNETCSMACD | ETHERNETCSMACD |
| Local IF ID | 3.3.3.78 (10) | 3.3.3.83 (8) |
| Utilization | 0% (0Bps/1Gbps) | 0% (0Bps/1Gbps) |
| Packet Drops | 0% | 0% |
| IGP Metric | 10 | 10 |
| Delay Metric | 10 | 10 |
| TE Metric | 10 | 10 |
| Admin Groups | 5 | |

ステップ 3 集約リンクの詳細を表示します。

破線をクリックします。破線は、複数のリンクを表す集約リンクを示します。

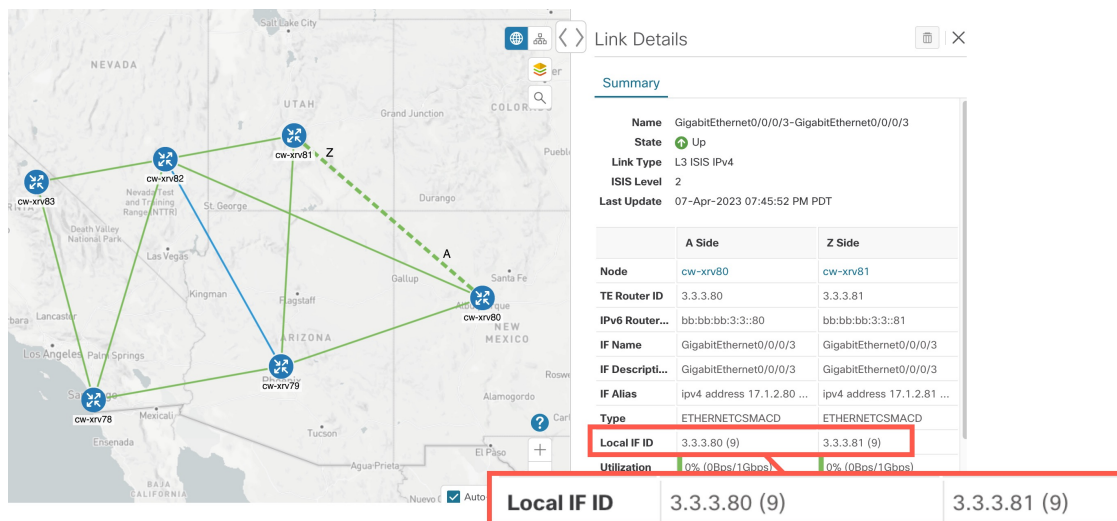
(注) デュアルスタックリンク (集約) は、1本の線に表示されます。

a) [リンクタイプ (Link Type)] 列で、リンクエントリをクリックしてリンクの詳細を表示します。



ステップ4 IPv4 アンナンバード インターフェイス情報を表示します (利用可能な場合)。

IPv4 アンナンバード インターフェイス情報が、インデックスとして表示されるか、TE ルータ ID とインデックスを組み合わせたものとして表示されます。



リンクの状態と検出方法

表 1: リンクタイプ、ディスカバリ、および状態

| リンクタイプ | 検出 | Link State |
|----------------------|-----------|--|
| L3 リンク (ISIS と OSPF) | SR-PCE 経由 | SR-PCE は、リンク動作状態に基づいて UP または DOWN に設定します |

| リンクタイプ | 検出 | Link State |
|-----------------------|----------------------------|---|
| L2 リンク (CDP、LLDP、LAG) | SNMP MIB 経由 : CDP、LLDP、LAG | <p>リンク状態は、2つのリンクエンドポイントの動作状態 (IF MIB 経由) に基づいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初に検出されたときのリンク状態は UP です。 エンドポイントインターフェイスの1つが稼働停止になると、リンク状態は DOWN に設定されます。 両方のエンドポイントインターフェイスが稼働状態になると、リンク状態は UP に設定されます。 |

表 2: リンク状態の定義

| Link State | 説明 |
|------------|--------------------------------|
| アップ (UP) | リンクは両方向の SR-PCE トポロジに存在します。 |
| DEGRADED | リンクは、SR-PCE トポロジで一方向のみで報告されます。 |
| DOWN | リンクは両方向でダウンしていると報告されています。 |

Topology Services に使用されるプロトコル

次の表は、情報の入手に使用されるプロトコルと方法を示しています。

| プロトコル/方法 | 内容 | ユースケース |
|------------------------|--|--|
| IGP/BGP-LS (SR-PCE 経由) | リアルタイムトポロジ (ノード、リンク、リンクメトリックなど) | L3 トポロジビジュアライザ |
| PCEP (SR-PCE 経由) | SR-PCE によって開始された LSP のリアルタイム LSP ステータスと CRUD | <ul style="list-style-type: none"> SR/SRv6、RSVP-TE LSP 可視化 SR-PCE によって開始された LSP 作成/更新/削除 |


| プロトコル/方法 | 内容 | ユースケース |
|---|---|---|
| SNMP (SNMPv2-MIB、 IP-MIB、IF-MIB、 LLDP-MIB (CISCO CDB-MIB)) (CDG 経由) | システム情報、インターフェイステーブル (インターフェイスおよびSR-TE/RSVP-TEトラフィック使用率) IP アドレステーブル、L2 隣接情報 | デバイス管理と詳細、およびCrosswork Optimization Engine モデルの構築 : <ul style="list-style-type: none"> • L2/L3 トポロジ • インターフェイス名、管理/操作ステータス • インターフェイス、SR ポリシー、RSVP-TE トンネルの利用 Crosswork Optimization Engine モデルシミュレーション : <ul style="list-style-type: none"> • IGP/LSP パスシミュレーション • 帯域幅ユースケース (機能パックの場合) |
| CLI (via CDG) -'show clock' | Clock Drift | デバイスとシステムが同期されていることを KPI モニターで確認する必要がある場合に、Change Automation and Health Insights で使用されます。 |
| CLI (via CDG) -'show mpls | TE ルータ ID など。 | SR-PCE から学習したのと同じ TE ルータ ID で DLM ノードを照合します。 |

マップ表示設定のカスタマイズ

ニーズと設定に基づいて、トポロジマップを視覚的な設定を行うことができます。次を実行できます。

- [リンクとデバイスの表示のカスタマイズ \(13 ページ\)](#)

リンクとデバイスの表示のカスタマイズ

デバイスとリンクマップの表示設定を設定するには、[トポロジ (Topology)] を選択し、トポロジマップの  をクリックします。

- 集約リンク、およびリンクの状態と使用状況を簡単に確認できるようにするリンクの色付け方法を表示するには、[リンク (Links)] をクリックします。デフォルトでは、集約リンクはマップ上で単一リンクと区別され、リンクはリンク使用率のしきい値に基づいて色付けされます。管理者は、使用率のしきい値と対応する色を変更できます。

デバイスグループを使用したトポロジビューのフィルタ処理

- デバイスの状態とデバイスのラベル付けを表示するには、[デバイス (Devices)] をクリックします。デフォルトでは、デバイスの状態はマップに表示され、ホスト名はデバイスのラベル付けに使用されます。

デバイスグループを使用したトポロジビューのフィルタ処理

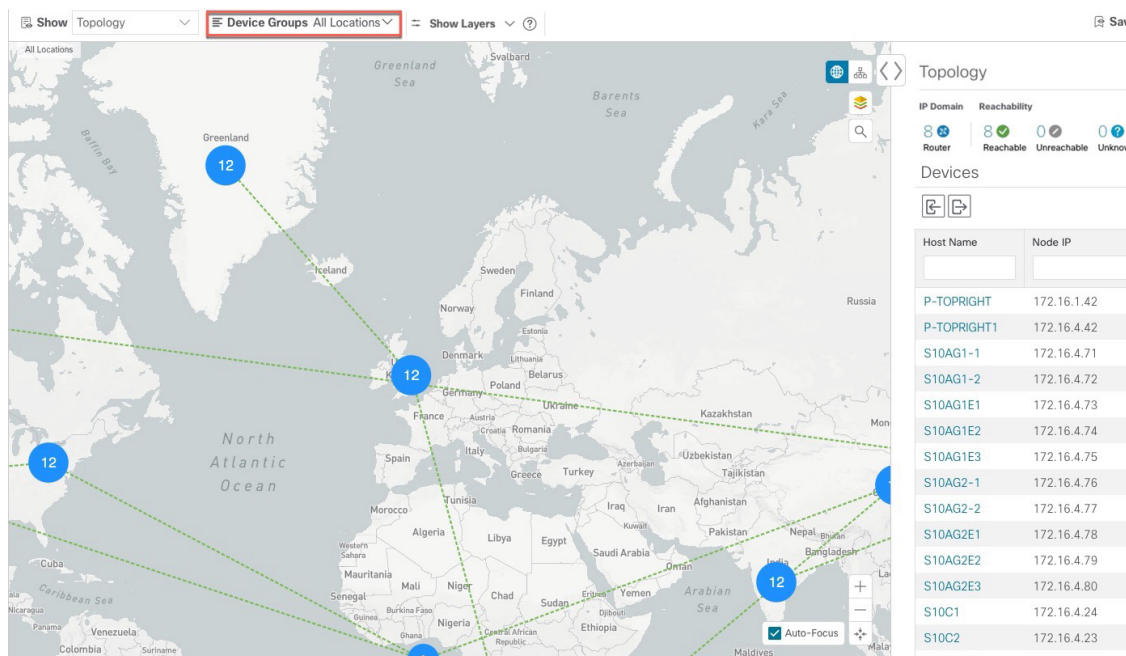
さまざまな目的でデバイスを識別、検索、およびグループ化するためにデバイスグループを作成できます。デバイスグループウィンドウ ([デバイス管理 (Device Management)] > [グループ (Groups)]) には、すべてのデバイスとそのデバイスが属するデバイスグループが表示されます。デフォルトでは、すべてのデバイスが最初は [Unassigned Devices] グループに表示されます。

グループ化とフィルタリングの機能を示すために、グローバルに分散されたデバイスの環境が構築しており、リージョンに基づいてデバイスをサブグループ化できます。この例には、US West というサブグループがあります。

ステップ 1 地理的マップ上のデバイスを表示します。

- a) メインメニューから、[Topology] を選択します。

(注) 位置情報のないデバイスは、[Devices] テーブルにのみ表示されます。位置情報のないデバイスをマップに表示するには、[Geo Location] 列にデバイスの地理座標を入力します。



The screenshot shows a network topology view with a map of the United States. Several devices are marked with blue circles and connected by green lines. The interface includes a 'Show Layers' dropdown menu with 'Device Groups All Locations' selected. The 'Topology' panel on the right shows a list of devices and their IP addresses.

| Host Name | Node IP |
|-------------|-------------|
| P-TOPRIGHT | 172.16.1.42 |
| P-TOPRIGHT1 | 172.16.4.42 |
| S10AG1-1 | 172.16.4.71 |
| S10AG1-2 | 172.16.4.72 |
| S10AG1E1 | 172.16.4.73 |
| S10AG1E2 | 172.16.4.74 |
| S10AG1E3 | 172.16.4.75 |
| S10AG2-1 | 172.16.4.76 |
| S10AG2-2 | 172.16.4.77 |
| S10AG2E1 | 172.16.4.78 |
| S10AG2E2 | 172.16.4.79 |
| S10AG2E3 | 172.16.4.80 |
| S10C1 | 172.16.4.24 |
| S10C2 | 172.16.4.23 |

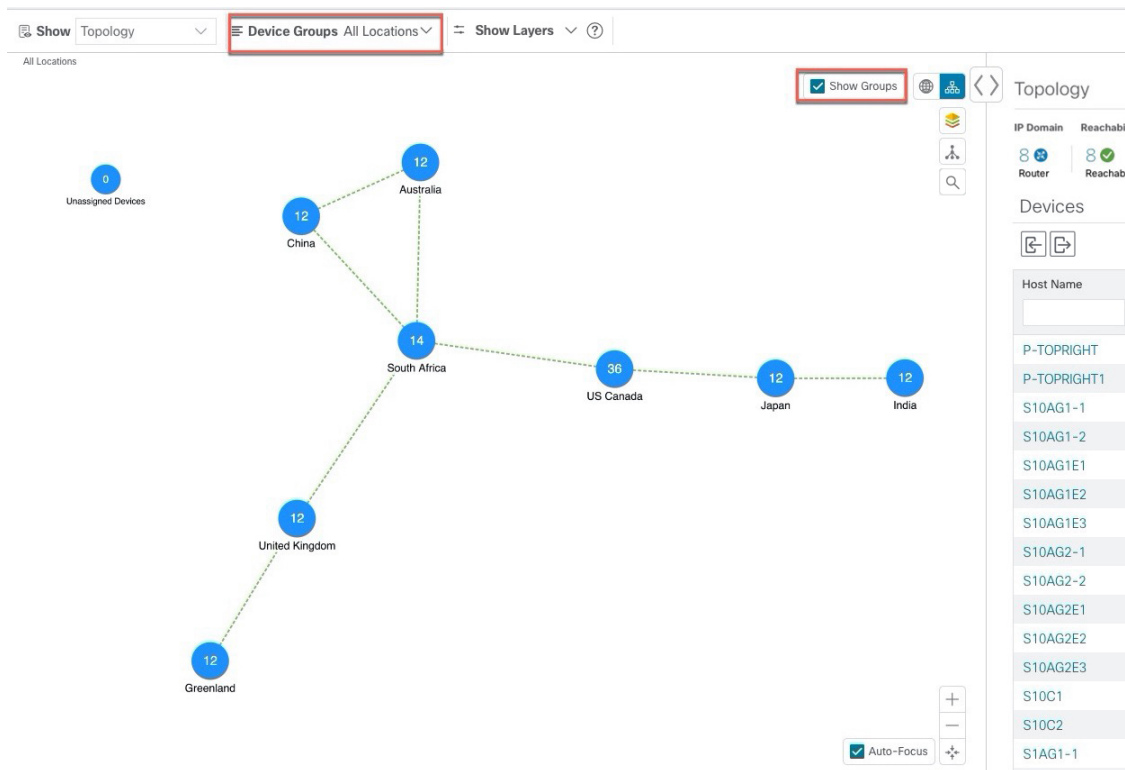
- b) [Device Group] ドロップダウンリストからグループ (US West) を選択します。そのグループ内のデバイスと関連リンクのみが地理的マップに表示されます。[Devices] テーブルもフィルタ処理され、グループ内のデバイスのみが表示されます。

| Host Name | Node IP |
|-----------|-------------|
| STAG1-1 | 172.16.4.38 |
| STAG1-2 | 172.16.4.37 |
| STAG1E1 | 172.16.4.34 |
| STAG1E2 | 172.16.4.35 |
| STAG1E3 | 172.16.4.36 |
| STAG2-1 | 172.16.4.81 |
| STAG2-2 | 172.16.4.82 |
| STAG2E1 | 172.16.4.83 |
| STAG2E2 | 172.16.4.84 |
| STAG2E3 | 172.16.4.85 |
| STC1 | 172.16.4.46 |
| STC2 | 172.16.4.47 |

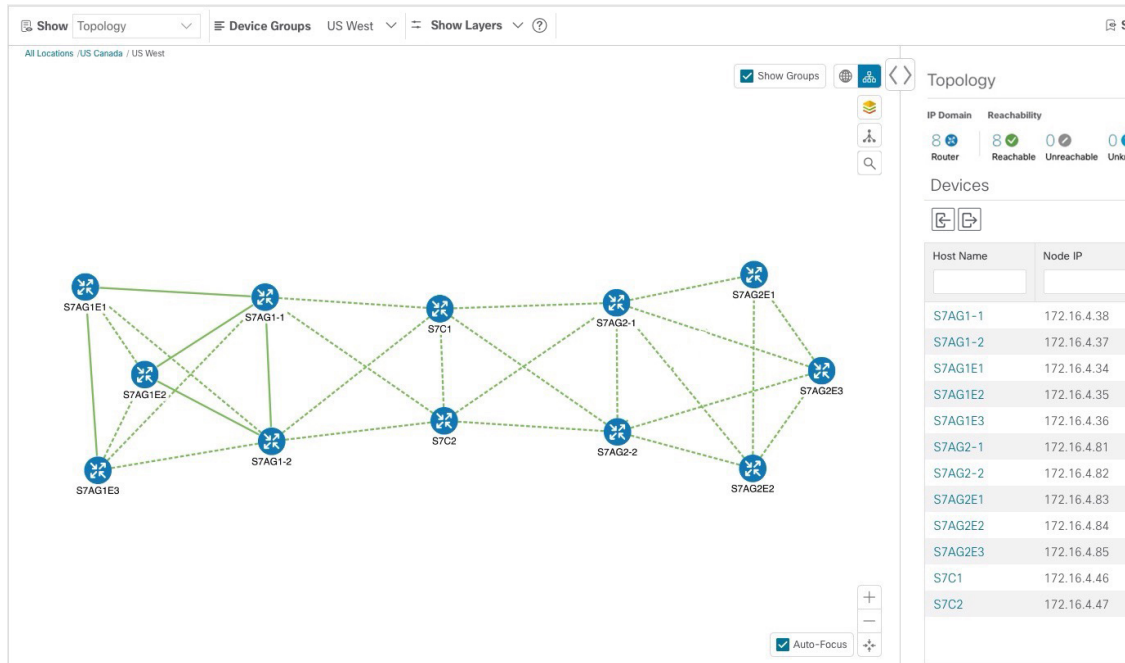
ステップ 2 論理マップ上のデバイスを表示します。

- メインメニューから、[Topology] を選択します。
- 📦 をクリックします。
- [デバイスグループ (Device Group)] ドロップダウンリストから [すべての場所 (All Locations)] を選択し、[グループの表示 (Show Groups)] がオンになっていない場合はオンにします。このビューでは、すべてのデバイスグループを表示できます。デバイスグループは、論理マップ内でのみこの方法で表示できます。

デバイスグループを使用したトポロジビューのフィルタ処理



- d) [Device Group] ドロップダウンリストからグループ (US West) を選択します。このグループに属するデバイスがトポロジマップと [Devices] テーブルに表示されます。



- e) テキストボックスに部分的なホスト名または IP アドレスを入力して、[Device] テーブルのデバイスをフィルタ処理します (たとえば、現在の設定の [HostName] テキストボックスに **S7C** と入力します)。
[デバイス (Device)] テーブルには、フィルタ処理の基準に一致するデバイスのみが表示されます。た

ただし、[デバイス (Device)] テーブルをフィルタ処理しても、トポロジマップ上のデバイスは視覚的にフィルタ処理されません。地理的マップまたは論理マップ上のデバイスを視覚的にフィルタ処理するには、デバイスグループを使用します。


(注) リスト内のデバイスをダブルクリックして、選択したデバイスを地理的マップまたは論理マップ上で再センタリングすることもできます。

The screenshot displays a network topology map on the left and a device list table on the right. The topology map shows a complex network of devices labeled S7AG1E1 through S7AG2E3. The device list table on the right is titled 'Devices' and shows a list of devices with columns for Host Name, Node IP, Oper..., Reac..., and Product Type. The table contains two rows of data:

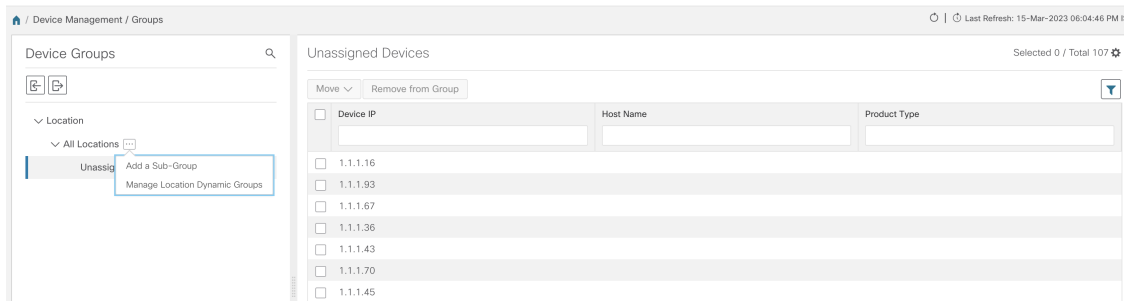
| Host Name | Node IP | Oper... | Reac... | Product Type |
|-----------|-------------|---------|---------|--------------|
| S7C1 | 172.16.4.46 | OK | Re... | ciscoCRS16S |
| S7C2 | 172.16.4.47 | OK | Re... | ciscoCRS16S |

デバイスグループの作成と変更

デバイスグループを作成し、そのグループにデバイスを割り当てることができます。ここで説明するように手動で行うことも、[ダイナミックデバイスグループの有効化 \(18 ページ\)](#) で説明するように自動で行うこともできます。デバイスは、1つのデバイスグループにのみ属することができます。

- ステップ 1** メインメニューから [デバイス管理 (Device Management)] > [グループ (Groups)] を選択します。
- ステップ 2** 新しいサブグループを追加するには、[すべての場所 (All Locations)] の横にある  をクリックします。[すべての場所 (All Locations)] の下に新しいサブグループが追加されます。
- ステップ 3** グループにデバイスを追加するには、右側のペインの [未割り当てのデバイス (Unassigned Devices)] でデバイスを選択します。
- ステップ 4** [グループに移動 (Move to Group)] ドロップダウンから、目的のグループを選択し、[移動 (Move)] をクリックします。

ダイナミック デバイス グループの有効化



ステップ 5 グループから削除するには、[グループから削除 (Remove from Group)] をクリックします。グループを削除すると、そのグループに属しているすべてのデバイスが [未割り当てデバイス (Unassigned Devices)] グループに移動します。また、グループを削除すると、そのグループのサブグループがすべて削除されます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

ダイナミック デバイス グループの有効化


デバイスホスト名で正規表現 (regex) を使用して、デバイスグループを動的に作成し、未割り当てのデバイスをこれらのグループに自動的に追加するルールを作成できます。ルールに一致する新たに追加または検出されたデバイスは、適切なグループに配置されます。

ダイナミックルールは、すでにグループに属しているデバイスには適用されません。ルールで考慮されるようにするデバイスは、[未割り当てデバイス (Unassigned Devices)] に移動する必要があります。

始める前に

[ダイナミックグループ (Dynamic Groups)] ダイアログに示されている例に従うこともできますが、正規表現に精通していると有利です。

ステップ 1 メインメニューから [デバイス管理 (Device Management)] > [グループ (Groups)] を選択します。

ステップ 2 [すべての場所 (All Locations)] > [ロケーションダイナミックグループの管理 (Manage Location Dynamic Groups)] の横にある  をクリックします。

ステップ 3 [他の詳細と例の表示 (Show more details and examples)] をクリックして、必要な [ホスト名 (Host Name)] フィールドと [グループ名 (Group Name)] フィールドに入力します。


ステップ 4 [未割り当てデバイス (Unassigned Devices)] グループに既存のデバイスがある場合は、[ルールのテスト (Test Rule)] をクリックして、作成されるグループ名のタイプのサンプリングを表示します。

ステップ 5 [ルールの有効化 (Enable Rule)] トグルをオンにして、ルールを有効にします。ルールが有効になると、システムは未割り当てのデバイスを 1 分おきに確認し、ルールに基づいてそれらを適切なグループに割り当てます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ7 この方法で作成されたグループは、最初は [未割り当てグループ (Unassigned Groups)] の下に表示されません (ルールが初めて有効になったときに作成されます)。新たに作成したグループを必要なグループ階層に移動します。

ステップ8 新しく作成した未割り当てグループを適切なグループに移動するには、次の手順を実行します。

- a) すべてのロケーションの横にある  をクリックし、[サブグループを追加 (Add a Sub-Group)] をクリックします。
- b) 新しいグループに詳細を入力して [作成 (Create)] をクリックします。
- c) 左ペインから未割り当てのデバイスをクリックします。
- d) 右側のペインから、移動するデバイスを選択し、[グループに移動 (Move to Group)] をクリックして適切なグループに移動します。

簡易アクセスのトポロジビューの保存

マップ上のデバイスとリンクを再配置すると、通常、変更は保存されません。便利なマップレイアウトに簡単にアクセスするには、名前付きカスタムビューとして保存すると、毎回マップを再配置することなくすばやく取得できます。これは、多数のデバイスを含む大規模なネットワークを管理する場合に特に役立ちます。

カスタムビューを保存すると、次の設定が保存されます。

- 地理的マップか論理マップか。
- 論理マップのレイアウト内のデバイスの位置。
- デバイスとリンクの表示設定。

すべてのカスタムビューは、すべてのユーザーに表示されます。ただし、ビューを変更できるのは管理者ロールを持つユーザーまたはカスタムビューを作成したユーザーのみです。

ステップ1 必要な情報のみが含まれ、レイアウトがニーズを満たすまで、現在のマップビューをカスタマイズします。

ステップ2 思いどおりになったら、[ビューの保存 (Save View)] をクリックします。

簡易アクセスのトポロジビューの保存

The top screenshot displays a traffic engineering view for the United States. The map shows nodes xrv9k-5, xrv9k-3, xrv9k-6, xrv9k-4, xrv9k-7, and srpce1. The right-hand panel shows the following data:

| SR-MPLS | SRv6 | RSVP-TE |
|----------|----------|------------|
| 15 | 15 | 0 |
| PCE Init | PCE Init | Admin Down |
| | | Oper Up |
| | | Oper Down |

The bottom screenshot displays a traffic engineering view for the San Francisco Bay Area. The map shows nodes xrv9k-16, xrv9k-14, xrv9k-15, and xrv9k-17. The right-hand panel shows the following data:

| SR-MPLS | SRv6 | Tree-SID | RSVP-TE |
|---------|------|----------|------------|
| 20 | 1 | 0 | 0 |
| Total | SRv6 | SRv6-Opt | LCM |
| | | | Admin Down |
| | | | Oper Up |
| | | | Oper Down |

ステップ 3 新しいカスタムビューの一意的名前を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。後でビューを変更 ([Select a saved view] をクリック) し、トポロジの編集、名前の変更、またはビューの削除を選択できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。